

インターネット・医薬関連業、システム投資活発 契約単位が月から日単位へ コスト意識顕著

株式会社ビーブレイクシステムズ

ビーブレイクシステムズが様々な現場で感じたシステム業界における現在の景気動向を、現場目線で定期的に発信します。

【システム業界全般について】

インターネット関連、医薬関連企業等において、業績の良い企業のシステム投資意欲は衰えておらず、新しいシステムの導入を積極的に検討しているという話をしばしば耳にします。ある医薬関連企業では、システムの検討期間中に自社の業績が悪化したため、結論は一旦ペンディングになりましたが、その後大型案件を受注し業績が急激に回復したため、ベンダーを早々に選定すると決定したそうです。またその他の業種でも、システム投資を行うケースはあり、あるPR関連企業では現在、システム統合を目的とした業務管理システムの導入を検討しているそうです。

一方でシステム関連企業について最近よく耳にすることは、昨年末から増加傾向にあったシステム関連企業の倒産が1月は更に相次ぎ、また業績悪化により存続が難しいという企業の話も多く聞くようになりました。そのため、今後もシステム関連企業の厳しい状態はしばらく続くのではないかと考えています。

【エンジニアについて】

システム開発案件の繁忙期と呼ばれる12月から3月のこの時期ですが、契約期間が短縮傾向にあるという状況は昨年12月から引き続いており、アサインの契約更新がなされない案件が多数発生しています。今年の傾向として、3月末納品のプロジェクトにおいて、契約が3月途中までというものが複数見受けられます。これまでアサイン契約は単月毎に行われることが一般的でしたが、昨今の景気低迷の影響により人月単位ではなく、人日単位で契約をするというケースが増えております。これはユーザ企業側が少しでもコストをかけたくないという、コスト意識の一層の高まりを示しており、このことからシステム投資に向けられる目が更に厳しいものになっていると感じます。

■株式会社ビーブレイクシステムズ 会社概要

住所：〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-19-3 五反田第一生命ビル

設立：2002年7月

資本金：6,000万円

代表取締役：白岩次郎

事業内容：戦略的業務管理システム「MA-EYES」等のパッケージ販売や、システムの受託開発。

URL：<http://www.bbbreak.co.jp/>

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社ビーブレイクシステムズ 担当：岡部、木塚

TEL：03-5487-7855 / FAX：03-5487-7854 / E-MAIL：info@bbbreak.co.jp